

愛知県福祉サービス第三評価事業 評価結果

①第三者評価機関名

一般社団法人 愛知県社会福祉士会 福祉・介護情報調査センター

②施設・事業所情報

名称：瀬戸市立こうはん保育園	種別：保育所
代表者氏名：佐藤 多衣子	定員（利用人数）： 99 名
所在地：瀬戸市南山町1丁目118番地	
TEL： 0561-82-3252	
ホームページ：http://www.city.seto.aichi.jp/docs/2010111000892/	
【施設・事業所の概要】	
開設年月日 昭和39年10月1日 平成27年4月1日 公設民営化開始	
経営法人・設置主体（法人名等）： 瀬戸市 株式会社 ニチイ学館	
職員数	常勤職員： 10 名 非常勤職員 6名
専門職員	園長 1 名 調理師 調理補助 各1名
	保育士 18 名 統合保育士 1 名
	栄養士 1 名 事務員 1 名
施設・設備の概要	（居室数） 5部屋 （設備等） 遊戯室1 プール1
	園庭 2

③理念・基本方針

<p>保育理念：子ども一人ひとりを大切にし、保護者からも信頼され、地域に愛される保育園を目指す</p> <p>保育方針（目標）：心身ともにたくましく、よく遊ぶ子ども</p> <p>運営方針：おもいっきり遊ぶ、思いっきり学ぶ</p>

④施設・事業所の特徴的な取組

<p>本年度の努力目標を「子ども一人ひとりの気持ちを受け入れ応答的で、温かく丁寧な保育をする。」とし、子どもの最善の利益を第一にあげて、職員、保護者、地域が協働しながら保育を実践している。</p> <p>第三者評価を継続して受審している。</p>

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	平成 30 年 7 月 10 日（契約日） ～ 平成 年 月 日（評価決定日）
受審回数 （前回の受審時期）	3 回 （平成29年度）

⑥総評

◇特に評価の高い点

○子どもを常に中心におき、長期的な見通しをもちながら家庭での生活と保育の連携が図られるように、登園時等のコミュニケーション、連絡帳、園だよりによる緻密な保護者との関わり合いが見受けられた。引き続き保護者との連携が保たれることを期待する。

○公設公営から公設民営へ移行しても、異年齢保育、サッカー教室、リズム体操等の独自の保育実践は引き継がれ、新たに幼児を対象にした英語カリキュラム等を導入し、伝統と時代のニーズが調和された保育実践が見受けられる。

○園長を中心に、職場の人材育成に対して職員本人の気づきを促す支援について継続的な取り組みを期待する。

◇改善を求められる点

○アンケート結果に保護者が行事の写真等、情報をインターネットやメール配信等を活用した取り組みを求める声があったため対応を検討されたい。

○保護者からの相談内容を共有する範囲は、保護者が相談内容が漏洩したと感じたり、不快に感じない範囲とするよう、共有する内容と範囲を検討されたい。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

・ホームページの活用による実なる情報発信・写真閲覧サイトの活用による情報公開（保護者のみ閲覧出来る）を推進する。

・保護者対応、及び個人情報保護の観点から園外・園内の各種研修を活用し、相談業務のスキルアップを実施していく。

⑧第三者評価結果

別紙の「第三者評価結果」に記載している事項について公表する。

第三者評価結果

※すべての評価細目（65項目）について、判断基準（a・b・cの三段階）に基づいた評価結果を表示する。
 ※評価細目毎に第三者評価機関の判定理由等のコメントを記述する

評価対象 I 福祉サービスの基本方針と組織

I-1 理念・基本方針

第三者評価結果

I-1-(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。			
I-1-(1)-①	理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	保 1	a ・ (b) ・ c
<コメント> 基本方針は明文化され、ホームページと入園のしおりに記載されている。保護者には、入園式、行事、保護者総会、誕生日会などを活用し、具体的な内容を文書と口答により説明されている。職員については入職研修で説明し、職員会議でも周知に努めている。職員の理解度を確認する取組の導入を期待する。			

I-2 経営状況の把握

第三者評価結果

I-2-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。			
I-2-(1)-①	事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	保 2	a ・ (b) ・ c
<コメント> 月1回に開催される瀬戸市の会議で、地域の状況や保育ニーズについて情報を得ている。会計処理は法人が行っており、経営状況は法人が把握・分析を行い、園に伝えられている。			
I-2-(1)-②	経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。	保 3	a ・ (b) ・ c
<コメント> 経営状況は法人で分析され、経営課題を明確化され法人より園に伝えられる。経営課題は年4回の職員会議で園長より職員に伝えられている。昨年までは3年間の委託契約を受け運営されていたが、今年度より5年間の委託契約となり、前年度までの運営実績の分析が実施される予定。			

I-3 事業計画の策定

第三者評価結果

I-3-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。			
I-3-(1)-①	中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	保 4	a ・ (b) ・ c
<コメント> 指定管理の契約期間である5年間のビジョンおよび計画を策定し、中長期の収支計画を策定している。			

I-3-(1)-② 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	保 5	a · (b) · c
<p><コメント></p> <p>市との委託契約内容に沿って、単年度計画を策定している。保護者のニーズへの対応と、保育の質の向上のため、よりよい計画を策定していけるよう改善を目指している。中長期計画が単年度の事業計画に反映していることが明確にわかるよう、整理された資料の作成を期待する。</p>		
I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。		
I-3-(2)-① 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	保 6	a · (b) · c
<p><コメント></p> <p>行事ごとに行っている保護者アンケートの結果や、保護者から日々聴き取っている意見、職員の意見を反映して事業計画を策定している。事業計画の内容は職員会議で全員に周知している。</p>		
I-3-(2)-② 事業計画は、保護者等に周知され、理解を促している。	保 7	a · (b) · c
<p><コメント></p> <p>事業計画は園だよりや、必要に応じて配布している文書等を通して保護者に伝えている。保育参観などの機会に保育の流れの説明を行っている。アンケートの結果では保護者の理解が8割程度であることから、保護者にとってわかりやすく見通しの立てやすい事業計画の周知方法を検討されたい。</p>		

1-4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組

第三者評価結果

I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。		
I-4-(1)-① 保育の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	保 8	a · (b) · c
<p><コメント></p> <p>指定管理に移管されてから、第三者評価を毎年受審している。第三者評価の受審プロセスに、可能な限り多くの職員が参加できるよう工夫されることを期待する。保育所全体で、職員会議やミーティングなどの場を活用し、園長を中心として全職員が保育の質の向上に向けて対応を検討している。</p>		
I-4-(1)-② 評価結果にもとづき保育所として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	保 9	a · (b) · c
<p><コメント></p> <p>評価結果は法人にあげ、取り組むべき課題を分析している。評価結果の分析および課題の解決に向けた改善計画の策定に、園の職員が参画できる仕組みを構築されることを期待する。</p>		

評価対象Ⅱ 組織の運営管理

Ⅱ-1 管理者の責任とリーダーシップ

第三者評価結果

Ⅱ-1-(1) 管理者の責任が明確にされている。		
Ⅱ-1-(1)-① 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	保 10	a · (b) · c
<p><コメント></p> <p>園長の役割と責任は職務分担表で文書化し明確化に示されている。職員に対して職員会議や日々の保育実践の中で、園長の責任と役割を周知している。今年度からの新たな取り組みとして、プール事故に対応する監視体制の強化と管理ノートの作成、災害時の引き渡し訓練を計画・実践しており、有事における園長の役割と責任を明確化した。</p>		
Ⅱ-1-(1)-② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	保 11	a · (b) · c
<p><コメント></p> <p>園長は法人が実施する管理者向けの研修に参加し、コンプライアンスについて学んでいる。また、法人以外の研修にも参加し遵守すべき法令等を確認、理解に努めている。国や市のマニュアルは全職員に周知している。社会情勢の変化により社会的ルールや倫理を含むコンプライアンスは変化していくことから、園長による職員に対するコンプライアンスの研修を、定期的を開催することを検討されたい。</p>		
Ⅱ-1-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。		
Ⅱ-1-(2)-① 保育の質の向上に意欲をもち、その取組に指導力を発揮している。	保 12	a · (b) · c
<p><コメント></p> <p>園長は日々の保育実践の場で、保育の質の向上のために職員に対する指導を行っており、職員会議ではリーダーシップを発揮している。園児、保護者にとり安全・安心な保育サービスを提供するために、職員自身による気づきができるような指導を主任とともに取り組んでいる。</p>		
Ⅱ-1-(2)-② 経営の改善や業務の実行性を高める取組に指導力を発揮している。	保 13	a · (b) · c
<p><コメント></p> <p>職員が働きやすい環境づくりとして、業務の標準化を図っている。手順書を示すだけでなく、実施する行為の根拠を明確にすることで、職員が自分の役割が理解でき実践しやすいように、業務内容を明確にしている。職員自身が業務に積極的に取り組めるよう、丁寧な意見の聴き取りを行い職員のモチベーションを高めることで、意欲的に業務に取り組めるよう職員を支援している。</p>		

Ⅱ-2 福祉人材の確保・育成

第三者評価結果

Ⅱ-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。		
Ⅱ-2-(1)-① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が [※] 確立し、取組が実施されている。	保 14	a · (b) · c
<p><コメント></p> <p>人材の確保について計画を策定し、法人と協同で人材確保の取り組みを行っている。法人との連携で職員が定着し安定しつつあるが、更なる職場環境の改善に取り組んでいくことを期待する。職員との話し合いを重視して満足度を図るよう努めている。</p>		

II-2-(1)-② 総合的な人事管理が行われている。	保 15	a ・ (b) ・ c
<p><コメント></p> <p>人事管理の基準は法人が定めており、給与基準等の処遇と人事考査制度等の総合的な人事管理がされている。年2回の面接を通して、職員自らが将来への未来図を描けるように園長、主任が指導をしている。</p>		
II-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。		
II-2-(2)-① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。	保 16	a ・ (b) ・ c
<p><コメント></p> <p>勤務シフトは基本的に職員の意向に沿うようにしている。主任が窓口となり勤務シフトの調整が困難な場合はそれぞれの事情を聴きとり、優先順位を決めている。困ったことは相談できる体制があるが、パワーハラスメントについては、法人本部直通の電話窓口で相談を受けられる体制がある。</p>		
II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。		
II-2-(3)-① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	保 17	(a) ・ b ・ c
<p><コメント></p> <p>職員採用時の研修において期待する職員像を伝えている。法人が統一で作成した目標管理シートを職員一人ひとりが作成している。半年に一度の面接で、目標管理シートを基に目標の達成状況や課題、次期の目標等を園長、主任の二人体制で確認し助言・支援を行っている。園長、主任は連携をし、それぞれの職員の目標に配慮して、日常的な職員育成に取り組んでいる。</p>		
II-2-(3)-② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	保 18	a ・ (b) ・ c
<p><コメント></p> <p>法人が策定している研修計画に基づいて、研修を行っている。職員の役割によって受ける研修回数等に違いはあるが、基本的に全員が何らかの研修を受けている。人員不足により研修を受講する時間を確保することが難しいため、計画策定が難しい面があるが、極力やりくりをして研修を受けるように努めている。</p>		
II-2-(3)-③ 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	保 19	a ・ (b) ・ c
<p><コメント></p> <p>外部研修を受講した職員は、全体会議、職員会議で報告するようにしている。他の職員に自分の研修内容を報告することで、ふり返りと課題の明確化がされる。研修成果の評価・分析を行い、次の研修計画に反映する取り組みを導入されたい。</p>		
II-2-(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。		
II-2-(4)-① 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の教育・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	保 20	a ・ (b) ・ c
<p><コメント></p> <p>実習受け入れのマニュアルは法人によって作成されている。保育士の実習や教員研修、中学生のインターンシップなど多様な実習を受け入れている。実習前に実習生、担当職員に実習内容の説明をしている。子どもには口頭で、保護者には、実習があることを事前に「お知らせ」に記載し周知している。</p>		

II-3 運営の透明性の確保

第三者評価結果

II-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。		
II-3-(1)-① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	保 21	a ・ (b) ・ c
<p><コメント></p> <p>保育の理念や基本方針、保育の内容についてはホームページで公表されている。第三者評価受審について公表している。ホームページ更新は、事務職員が週1回程度行っている。事業計画や事業報告、予算、決算に関する情報は法人単位で、株主向けにホームページで情報講評が行われている。地域や保護者等に対して分かりやすいよう、園単位での経営情報の公表を検討されたい。</p>		
II-3-(1)-② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	保 22	a ・ (b) ・ c
<p><コメント></p> <p>法人は企業として透明性の高い経営・運営と、説明責任をはたすよう努めている。事務、経理、取引に関するルールは明確にされ、職員に周知されている。内部監査は法人が定期的実施している。</p>		

II-4 地域との交流、地域貢献

第三者評価結果

II-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。		
II-4-(1)-① 子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。	保 23	a ・ (b) ・ c
<p><コメント></p> <p>地域との交流を広げるため、青少年健全育成会や自治会役員会へ参加している。これらの会議に参加することで、保育園や子どもへの理解を促進している、民生委員との連携で未就園児への情報交換もできている。子どもの社会体験に地域行事へ参加するなど、交流を広げる取組を期待する。</p>		
II-4-(1)-② ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	保 24	a ・ (b) ・ c
<p><コメント></p> <p>ボランティアの受入れに関するマニュアルを整備している。事前の打ち合わせで、活動の目的や注意点を明確にしている。受け入れも園だよりで保護者に周知している。</p>		
II-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。		
II-4-(2)-① 保育所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	保 25	a ・ (b) ・ c
<p><コメント></p> <p>園長は定期的開催される市の会議、学区青少年育成の会議に出席して、関係機関との連携を図り地域のネットワーク活用に努めている。会議の内容は関係する事項は、職員に会議で周知している。</p>		
II-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。		
II-4-(3)-① 保育所が有する機能を地域に還元している。	保 26	a ・ (b) ・ c
<p><コメント></p> <p>「赤ちゃん広場」や「すくすくの会」など、瀬戸市の子育て支援事業として地域の子どもや保護者に保育園を開放している。</p>		

Ⅱ-4-(3)-② 地域の福祉ニーズにもとづく公益的な事業・活動が行われている。	保 27	a · (b) · c
<コメント> 瀬戸市の事業計画にそって運営している「赤ちゃん広場」や「すくすくの会」が行われている。公設民営の指定管理で運営していることから、瀬戸市との協議が必要となると思われるが、子育て支援事業の運営で参加者から福祉ニーズを把握し、今後の事業運営に反映させるなど活動の充実を検討されたい。		

評価対象Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス

第三者評価結果

Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。		
Ⅲ-1-(1)-① 子どもを尊重した保育について共通の理解をもつための取組を行っている。	保 28	a · (b) · c
<コメント> 保育方針に子どもの自主性の尊重を明文化し定めており、保育理念にも一人ひとりを大切にすることが明記されている。全体会議で保育方針を確認し、担任だけでなく職員全体で子どもを見守るようにしている。職員が子どもを尊重するのみでなく、子どもがお互いに尊重する心を育む取り組みの、さらなる推進を期待する。		
Ⅲ-1-(1)-② 子どものプライバシー保護等の権利擁護に配慮した保育が行われている。	保 29	a · (b) · c
<コメント> 権利擁護に関するチェックシート、プライバシーの保護マニュアルを活用し、保育士は権利擁護ができていないか確認をしている。プライバシーへの配慮は、おむつ交換では衝立をして他から見えないように配慮し、屋外から子どもたちの様子がみえないよう各部屋にロールスクリーンが設置されている。アンケートの結果から、保護者からの相談内容について共有する内容や範囲の検討が必要であると思われる。対応を検討されたい。		
Ⅲ-1-(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。		
Ⅲ-1-(2)-① 利用希望者に対して保育所選択に必要な情報を積極的に提供している。	保 30	a · (b) · c
<コメント> 保育の内容を記したパンフレットは、園以外には市役所、公共施設に置いている。見学希望者には、パンフレットを使い個別説明を行って丁寧に説明をするよう努めている。ホームページでも行事の写真や園だよりを掲載して保育内容等の案内をしている。情報提供の方法について定期的な見直しを行う取り組みを期待する。		
Ⅲ-1-(2)-② 保育の開始・変更にあたり保護者等にわかりやすく説明している。	保 31	a · (b) · c
<コメント> 保育の開始時には、入園のしおりを使用して説明をしている。配慮が必要な保護者には個別面談を行っている。年度初めに日課表（ディリープログラム）を配布し、必要に応じて口頭でも説明を行っている。保育の変更時も同様に保護者の状況に応じた支援がされている。誕生日など子どもの発達や生活の節目に、一人ひとりの子どもの状況に応じた個別的な対応の変更等について説明する取り組みを検討されたい。		
Ⅲ-1-(2)-③ 保育所等の変更にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。	保 32	a · (b) · c
<コメント> 保育所の変更では、定型書式はないが、変更先に必要な情報は家庭からの要請に基づいて保護者の了解のもと提出している。		

Ⅲ-1-(3) 利用者満足の向上に努めている。			
Ⅲ-1-(3)-① 利用者満足の向上を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	保 33	a · (b) · c	
<p><コメント></p> <p>行事を実施した後は、保護者へのアンケートを行い、集計結果はフィードバックをしている。今年度は保護者会費の見直しにがあったため、その変更理由を明示し、意見を表明できるよう配慮され理解を得るよう努めた。行事に限らず日々の保育に対する満足度のアンケート調査を実施する取り組みも検討されたい。</p>			
Ⅲ-1-(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。			
Ⅲ-1-(4)-① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	保 34	a · (b) · c	
<p><コメント></p> <p>苦情解決責任者の設置、第三者委員の設置がされ、保護者に苦情解決への取り組みに関する資料が配布されている。保護者と日々の送迎時を活用してコミュニケーションをとり、要望を把握している。「クラスたより」で保護者にフィードバックし、必要に応じ保護者と面談を行っている。アンケートの結果から、保護者に対する説明のありかたの検討が必要と思われるため、対応を検討されたい。</p>			
Ⅲ-1-(4)-② 保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、保護者等に周知している。	保 35	a · (b) · c	
<p><コメント></p> <p>園だより等にて相談方法を周知している。アンケートでも、話しかけやすい・担任以外の先生も子供をよく把握して声をかけてくれる等の声が多くあり、話しかけやすい雰囲気作りに努めていることが分かる。しかし、忙しそうで声をかけるのを躊躇する、という意見もみられ多忙な業務のなかで、声をかけづらく感じている保護者への対応の検討を期待する。</p>			
Ⅲ-1-(4)-③ 保護者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	保 36	a · (b) · c	
<p><コメント></p> <p>法人で作成している対応マニュアルがある。保護者からの相談や意見は、迅速な判断が必要な時は職員会議を招集して検討をしている。保育士個人の判断ですぐに解答できない案件は園長、主任保育士を含め関係職員が対応を検討し、返答をするようにしている。法人本部にも相談し、保護者に経過報告や改善策を伝えるようにしている。</p>			
Ⅲ-1-(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。			
Ⅲ-1-(5)-① 安心・安全な保育の提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	保 37	a · (b) · c	
<p><コメント></p> <p>マニュアルが整備され、ヒヤリハット報告書を作成しており、職員会議等で再発防止や改善策を検討し職員同士の共有化が図られている。施設遊具は年に1度、業者による保守点検を受けるとともに、毎日ペアを組んで職員による安全確認がチェックリストに基づいて行われている。リスクマネジメントの実施状況や実効性について定期的に評価を行い、実施方法を見直す取り組みを期待する。</p>			
Ⅲ-1-(5)-② 感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	保 38	a · (b) · c	
<p><コメント></p> <p>瀬戸市が策定しているマニュアルに基づいて感染症の対策を行っており、入園のしおりにも説明があり、園だより、保健だよりで対応策の周知を図り、感染症が発生した場合は、子どものプライバシーに配慮しながら掲示している。</p>			

Ⅲ-1-(5)-③ 災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的に行っている。	保 39	a · (b) · c
<コメント> 保育園管理に安全対策として防災計画・防犯計画があり、計画に基づいて毎月避難（防災、火災・地震、防犯、不審者）計画が策定され、計画に沿って実施されている。引き渡し表に基づいて確実に子どもを引き渡すための訓練も始められた。一斉メールについては引き続き検討していくことを期待する。		

Ⅲ-2 福祉サービスの質の確保

第三者評価結果

Ⅲ-2-(1) 提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。		
Ⅲ-2-(1)-① 保育について標準的な実施方法が文書化され福祉サービスが提供されている。	保 40	a · (b) · c
<コメント> 業務マニュアルは職員に個別に配布され、保育の個々の場面に対応できるよう、実施方法は標準化されている。標準的な実施方法で保育が実施されているかどうか、確認する仕組みの導入を期待する。		
Ⅲ-2-(1)-② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	保 41	a · (b) · c
<コメント> 市と法人によって定められたマニュアルがある。法人および園は標準的な方法について定期的に見直しを行っている。職員の意見や、保護者からの要望等を踏まえて職員会議で検討される。		
Ⅲ-2-(2) 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。		
Ⅲ-2-(2)-① アセスメントにもとづく指導計画を適切に策定している。	保 42	a · (b) · c
<コメント> 保育計画の作成は、関係する児童票、入園までの生活状況、健康の記録、入園申込書等の書類によりアセスメントに必要な情報が整理されている。日常的な保護者との連絡帳、情報交換を通して子どもと保護者のニーズを把握し、指導計画に反映されるよう策定するよう努めている。		
Ⅲ-2-(2)-② 定期的に指導計画の評価・見直しを行っている。	保 43	a · (b) · c
<コメント> 週案は毎日、月案は月末に実施状況を確認し、次の計画の策定につながるよう評価を行っている。必要があれば修正できるよう見直しが行われている。指導計画の見直しをおこなった場合、保護者への説明を行っている。指導計画の評価や見直しを行う中で、保育の質の向上に関する課題が明確になった場合は、標準的な保育の実施方法に反映できる取り組みを期待する。		
Ⅲ-2-(3) 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。		
Ⅲ-2-(3)-① 子どもに関する保育の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	保 44	a · (b) · c
<コメント> 保育計画に基づく実践記録がまとめられている。また毎日の記録は、日案、週案と共に記録されている。こうした記録は次年度の児童票に記録され、発達の記録、児童票の個別的にまとめられ、情報は定期的に行っている職員会議やミーティング等で共有できるようにされている。		
Ⅲ-2-(3)-② 子どもに関する記録の管理体制が確立している。	保 45	a · (b) · c
<コメント> 法人規定及び厚労省の個人情報ガイドラインに基づいた対応がなされている記録は鍵つきキャビネットに保管されている。職員は記録の取り扱い管理の手順を遵守しており、定期的に個人情報の取り扱いについて「自己点検シート」を利用して実践の点検を行っている。		

A-1 保育内容

第三者評価結果

A-1-(1) 保育の全体的な計画の編成			
A-1-(1)-① 保育所の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に応じて保育の全体的な計画を作成している。	保 46	a · (b) · c	
<p><コメント></p> <p>保育の全体的な計画は、瀬戸市から示されるモデル的な計画を基にして園で策定しており、策定した全体的な計画は職員会議等による勉強会を開催することで職員に周知している。</p>			
A-1-(2) 環境を通して行う保育、養護と教育の一体的展開			
A-1-(2)-① 生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。	保 47	a · (b) · c	
<p><コメント></p> <p>設備の整備は、歴史のある建物であることから採光等の構造上の課題は抱えるものの、子どもが心地よく過ごせるよう、職員が明るい壁面装飾をするなど工夫をしている。2か所ある園庭は広く、子どもたちが伸び伸びと活動することができる。</p>			
A-1-(2)-② 一人ひとりの子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っている。	保 48	a · (b) · c	
<p><コメント></p> <p>発達の状況に応じて、一人ひとりの子どもを受容するための、保育のねらい、目標を設定して保育を行っている。複数担任、担当となっているので日々発達が進む子どもの情報共有や、担当者同士の保育に対する温度差が生じないよう意思疎通を図るため、小規模のミーティングや会議を行っている。</p>			
A-1-(2)-③ 子どもが基本的な生活習慣を身につけることができる環境の整備、援助を行っている。	保 49	a · (b) · c	
<p><コメント></p> <p>異年齢保育を通して、低年齢児は高年齢児の姿が「憧れ」「手本」となり、「育ちあい」を通して生活習慣が身につくよう工夫されている。家庭での子どもの生活状況については送迎時の保護者との情報交換や連絡帳をとおして家庭での状況を把握するように心がけ、家庭での生活を考慮した支援を行っている。</p>			
A-1-(2)-④ 子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。	保 50	a · (b) · c	
<p><コメント></p> <p>異年齢保育と年齢ごとの保育の時間設定が計画的、意図的に実施され、個々の発達の状況に応じ、主体的に生活と遊びができるような環境設定がされている。絵本の配置、表示が年齢に応じてわかりやすいように工夫をしている。</p>			
A-1-(2)-⑤ 乳児保育(0歳児)において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	保 51	a · b · c	
<p><コメント> 非該当</p>			
A-1-(2)-⑥ 3歳未満児(1・2歳児)の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	保 52	a · (b) · c	
<p><コメント></p> <p>1・2歳児が安心して保育が受けられるよう、保育室の環境が整えられ、安心して戸外で遊べるように園庭に乳児園庭がある。保護者との個人懇談会、連絡帳や登園時等の機会を活かしコミュニケーションから日常的な保護者との連携が図られている。</p>			

A-1-(2)-⑦ 3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	保 53	a ・ (b) ・ c
<p><コメント></p> <p>6月より幼児を対象とした英語カリキュラムが毎月2回設定され、子ども、保護者にも好評である。あるがままの子どもを受け入れ、情緒の安定を図り、自己肯定感を高める支援が異年齢保育の中で培われている。様々な行事、サッカー教室、リズム活動等を通して社会性や達成感、充実感があじわえるように見守り援助している。</p>		
A-1-(2)-⑧ 障害のある子どもが安心して生活できる環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	保 54	a ・ (b) ・ c
<p><コメント></p> <p>統合保育が専門の保育士を配置し実践され、瀬戸市の発達支援室と連携し支援している。障がいの疑いのある子どもに対しても保育士の気づきと保護者の気づきが必ずしも一致しないため、個々の状況に応じた対応ができるよう配慮し、発達支援室を通して次の就学先も見据えた支援が提供されている。障がいのある子どもの保育に関する適切な情報を全ての保護者に対して伝える取組を期待する。</p>		
A-1-(2)-⑨ 長時間にわたる保育のための環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	保 55	a ・ (b) ・ c
<p><コメント></p> <p>職員はそれぞれの勤務体制やクラスごとに応じて引継ぎメモを有効活用し、延長時間を担当する保育士に引き継ぎ、子どもが安心して心地よく過ごすことのできる環境づくりがされている。</p>		
A-1-(2)-⑩ 小学校との連携、就学を見通した計画に基づく、保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮している。	保 56	a ・ (b) ・ c
<p><コメント></p> <p>保育所児童保育要録を小学校へ提出する際に、要録だけでは伝わらない部分について口頭で伝えている。小学校のクラス編成時に保育士に意見を求められるほどの連携が図られている。子ども及び保護者が小学校への就学に対する期待や見通しが持てるよう配慮と支援がされている。保護者には保育参観、クラス懇談会、個人懇談会等で卒園に向けて、身につけておきたい習慣や、準備しておくこと等を伝えている。</p>		

A-1-(3) 健康管理

A-1-(3)-① 子どもの健康管理を適切に行っている。	保 57	a ・ (b) ・ c
<p><コメント></p> <p>毎月発育測定が実施され、定期的に内科検診、歯科検診が行われている。その結果は保護者に通知されるとともに、児童票と連絡帳に記載され職員の共有化も図られている。また、登園時の視診によって健康状況を確認している。着替え時にも状況を確認しておりカフエオレ斑点の発見につながったケースもあった。子どもの健康に関する方針や取組について、保護者への説明等働きかけの強化を期待する。</p>		
A-1-(3)-② 健康診断・歯科検診の結果を保育に反映している。	保 58	a ・ (b) ・ c
<p><コメント></p> <p>診断、検診の記録は職員会議やミーティングで情報を共有し、対応を検討し、対応が必要な場合は内容を会議で検討し、保育に反映している。連絡ノートや保育の記録を通して保護者に結果を伝え、受診等の対応が必要な場合の説明も行っている。</p>		
A-1-(3)-③ アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて、医師からの指示を受け適切な対応を行っている。	保 59	a ・ (b) ・ c
<p><コメント></p> <p>入園時、入園後も定期的アレルギー疾患、慢性疾患等が把握できるよう様式が整えられており、その情報は健康の記録に整理されている。医師の記載による「保育所におけるアレルギー疾患指導表」で対応されている。特に初めて食すものを保護者より情報提供を受けるなど細やかな対応に努めている。アレルギー食に対する手順書があり、調理室受取口に指示書がわかりやすく表示している。食物アレルギー以外（ハウスダストや化学物質など）に対応するマニュアルの作成を期待する。</p>		

A-1- (4) 食育、食の安全			
	A-1-(4)-① 食事を楽しむことができるよう工夫をしている。	保 60	a ・ (b) ・ c
<コメント> 保護者の食事に対する不安が軽減されるように情報を提供している。提供された食事、おやつはサンプルが掲示されている。食に対する関心が芽生え、高まるよう園庭で年齢に応じた野菜作りもしている。			
	A-1-(4)-② 子どもがおいしく安心して食べることのできる食事を提供している。	保 61	a ・ (b) ・ c
<コメント> 瀬戸市の献立表に基づいて調理され、食器は瀬戸物に配膳されている。衛生管理マニュアルがあり適切に衛生管理がされている。栄養士、調理員が子どもの様子を見たり話を聞くなどして状況を把握するとともに、利用者アンケートを実施している。どのくらい摂食しているか、量が知りたいという保護者の声の一部にあったため対応を検討されたい。			

A-2 子育て支援

第三者評価結果

A-2- (1) 家庭と綿密な連携			
	A-2-(1)-① 子どもの生活を充実させるために、家庭との連携を行っている。	保 62	a ・ (b) ・ c
<コメント> 全体的なことは「園だより」でお知らせすることで家庭との日常的な育児等の情報提供に努め連携を図られている。保護者自身の課題解決能力がさらに高まるように日々のコミュニケーションの中で意識的な対応を心がけている。個別には保護者面談や誕生月に相談会を実施し、丁寧に話を聴き取っている。			

A-2- (2) 保護者の支援			
	A-2-(2)-① 保護者が安心して子育てができるよう支援を行っている。	保 63	a ・ (b) ・ c
<コメント> 連絡帳、園だより、保健だより、行事案内文書等で緻密な情報提供と行事ごとのアンケートの実施によるフィードバックなどの保護者の意向の把握に努めている。保護者からの相談は、組織として保護者を支援する方針が示されている。			
	A-2-(2)-② 家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の予防に努めている。	保 64	a ・ (b) ・ c
<コメント> 虐待、権利侵害への対応について、マニュアルを作成し、法令順守とともに研修を実施している。保育管理にも虐待防止のための措置として、子どもの表情や心身の状態、登降園時の様子等の観察から、虐待の早期発見・予防に努めている。			

A-3 保育の質の向上

第三者評価結果

A-3- (1) 保育実践の振り返り(保育士等の自己評価)			
	A-3-(1)-① 保育士等が主体的に保育実践の振り返り(自己評価)を行い、保育実践の改善や専門性の向上に努めている。	保 65	a ・ (b) ・ c
<コメント> 法人で作成された統一した様式の自己振り返りチェックシートを使用して、半年ごとに保育実践の自己評価を行っている。自己評価の内容は、施設長が職員と面接を行い一緒に振り返りを行っている。			